

3年生

津市(養正地区)の 空襲について



たい へい よう せん そう

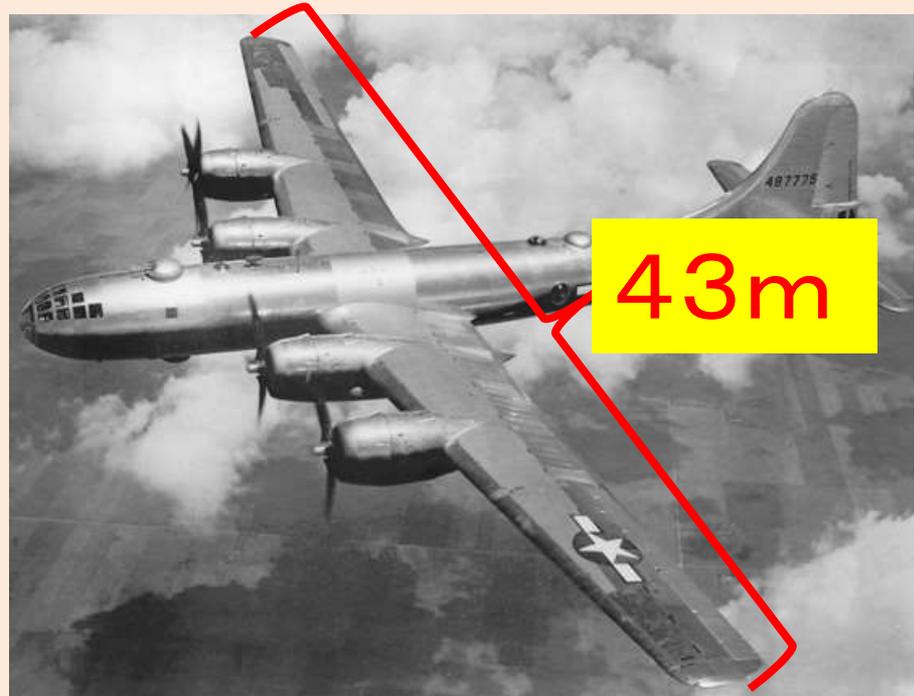
太平洋戦争

= 今から70年あまり前に 日本が
アジアや太平洋のいろんなところ
で アメリカ・イギリス・中国な
どと 戦争をしていた

ばく げき き
爆 撃 機

=ばくだんをおとす飛行機

アメリカの
B29爆撃機



くう

空

しゅう

襲

=ばくげききから、まちなどにばくだんをおとすこと



しょう い だん

焼 夷 弾

=火をふいて、家やまちを やくための
ばくだん

B29ばくげきき1機で、この
しょういだんを 4000発つむ
ことができた



今から75年前の昭和20年（1945年）津のまちも空襲で大ひがいをうけました。とくに、7月24日にはB29がやく100機で空襲し大型ばくだんをおとし、養正地区は大ひがいをうけ、7月28日にはB29やく100機がしょういだんをばらまき、焼け野原になりました。養正小もそのころはお城の前、今のNTTのあたりにありましたが全焼しました。



空襲を体験した人が、のちにそのときのことを思い出してかいた絵



岩田橋

塔世橋

毎年、リージョンで開かれる戦争展でのもけい。(きよかをもらって、写真にとりました) 赤の線の内がわが、ほぼ焼けてしまったところ。

戦災直後の津市街



くうくうで 焼き野原になった街 (大門のほうから山のほうを見た様子)



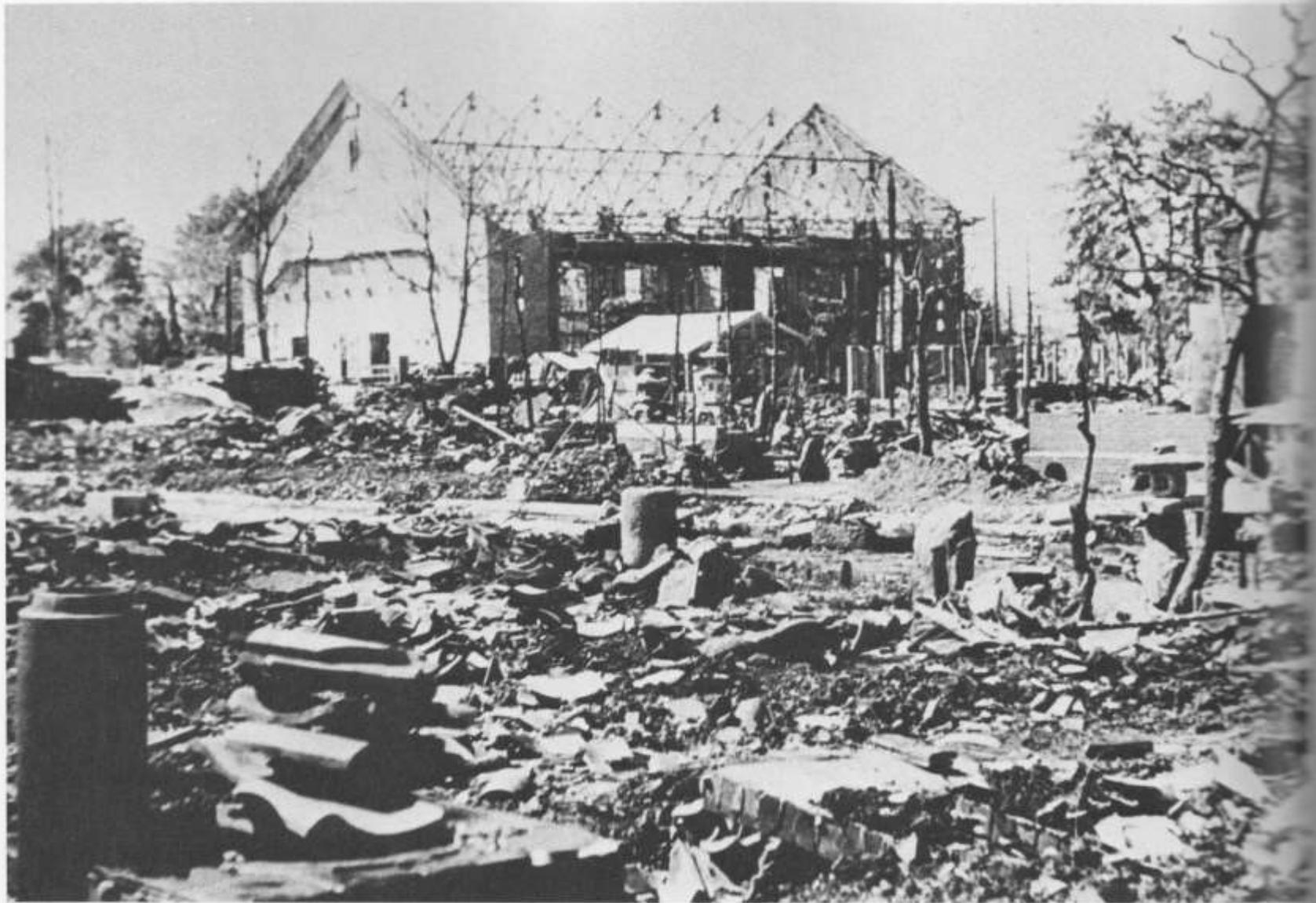
今の三重会館・百五ビル・センターバスの交差点のあたり

お城の森

今の国道23号線

今の岡三証券ビルやプラネタリウムのあたり

上部より順々 長谷山 赤引山 赤引山麓の下の白い建物——旧機軸学校地蔵(現津市地蔵の位置) その左 津城址
中央の広い道路——津国道23号線 右の24号線と交わる道路——京口交差点

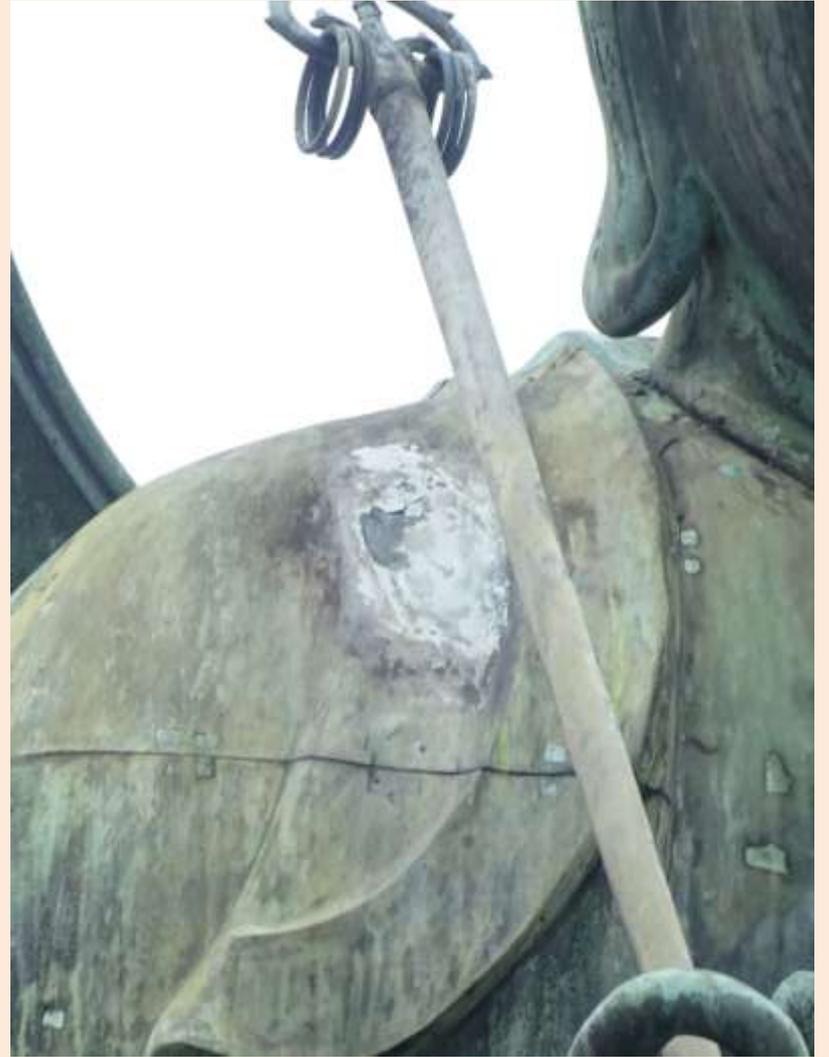


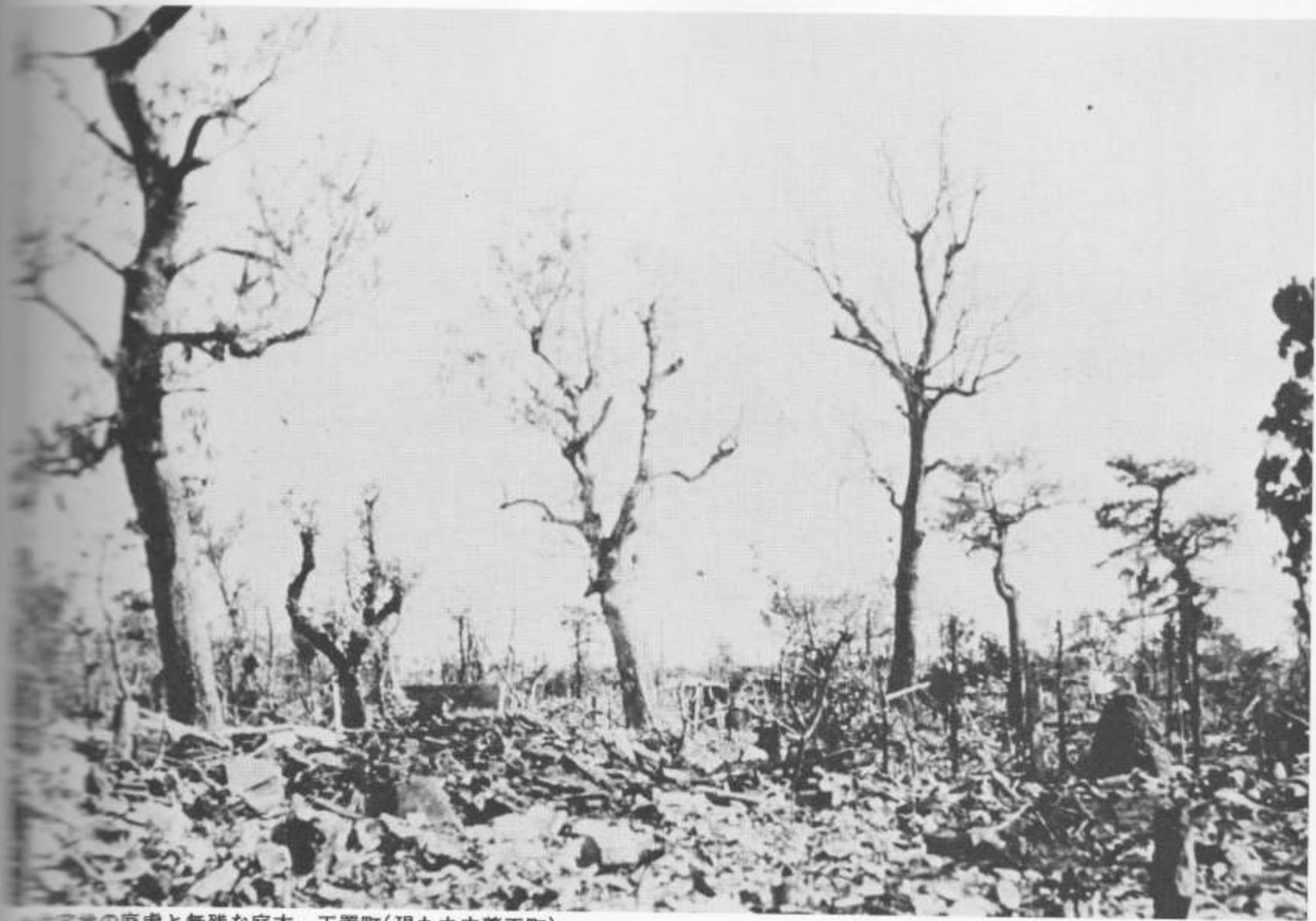
▲現NTTの所にあった養正国民学校講堂











三宅島の廃墟と無残な庭木 玉置町(現丸之内養正町)

この津の大くうしゅうで、2000人ぐらいの人が亡くなり、たくさんの人がケガをして、養正地区のほとんどの建物がやけてしまいました。養正小の子どもも、7/24だけでも約80人がなくなりました。

このあと8月6日には広島に8月9日には長崎に原爆が投下され何十万人の人がなくなりました。津の空襲からわずか2週間あまりあと昭和20年8月15日に日本は戦争にやぶれ終戦となりました。

戦争は勝っても負けてもたくさんの方が死んだりきずついたりします。この戦争でもアジアや太平洋、そして世界中の人が戦争にまきこまれ ぎせいになりました。

日本 300万人

ドイツ 700万人

ソ連(いまのロシアなど) 2000万人

アメリカ 30万人

イギリス 40万人

中国 1300万人

世界全体で 5000万人～8000万人

養正地区の人たちも力を合わせて、やけあとから少しずつ新しい家やまちをつくりあげてきました。養正小も2年間には修成小で部屋をかりて授業をしました。そのあとは、やけあとに建てたまにあわせの校しゃで、雨もりやすきま風にくろうして勉強しました。





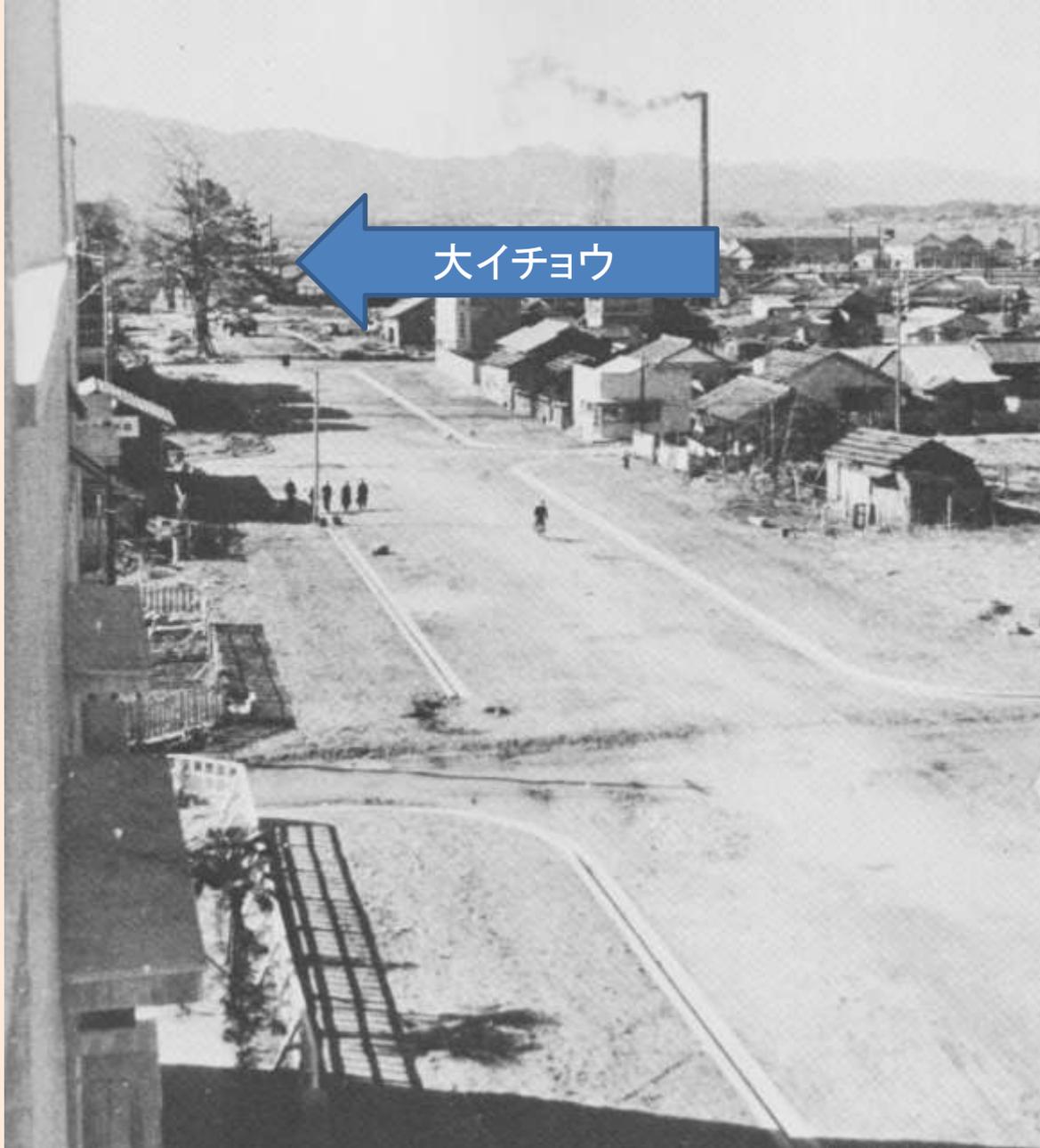
▲旧市役所から中日会館、百五銀行方面を望む

戦争がおわって10年ぐらいたったころ

今の百五本部ビル・三重会館・センターパレスの交差点

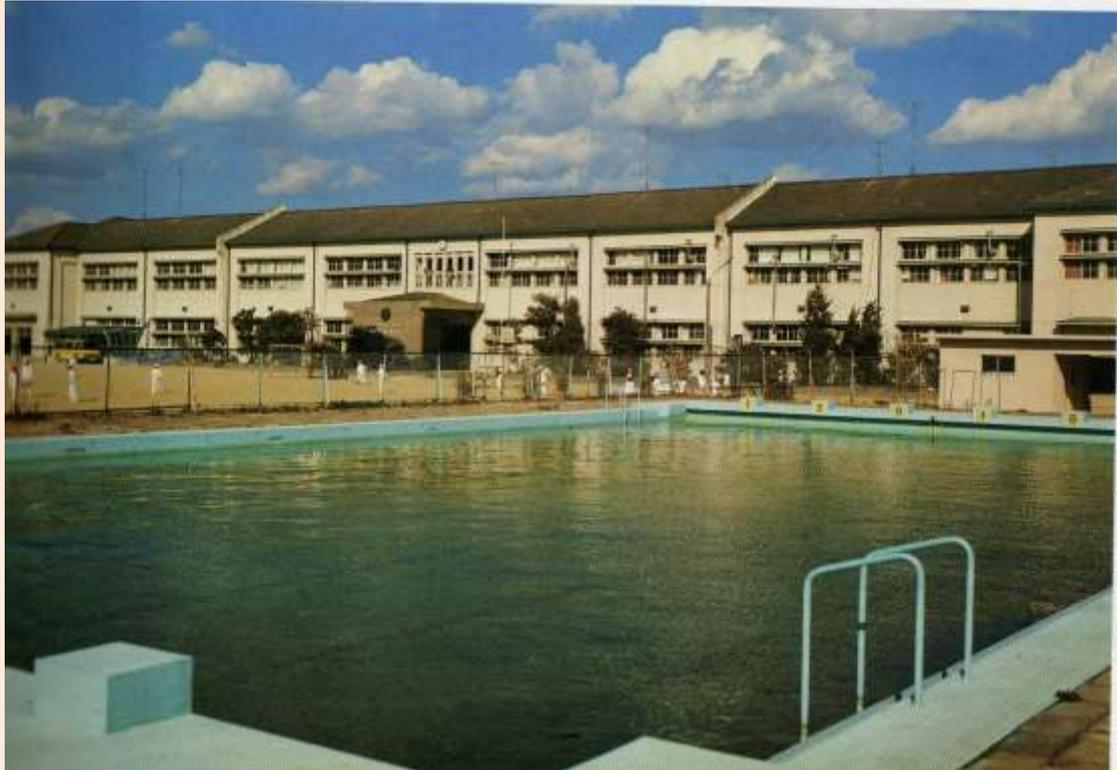


今のまち



戦争がおわって10年ぐらいたったころ

戦争がおわってから7年目に 今の場所(空しゅうで何もなしになっていた)に土地をもらい新しい校しゃ(今の校しゃの前の木の校しゃ)をたててもらいました。同じように子どもが遊ぶ公園もすぐ前にできました。



それから何十年。

町には、前よりいっぱい家がたっています。ちいちゃんが一人でかけおくりをした所は、小さな公園になっています。

青い空の下、今日も、お兄ちゃんやちいちゃんぐらいの子どもたちが、きらきらわらい声を上げて、遊んでいます。